

※今月のみ受注の書目です。

震災

阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか  平積み
被災者支援と復興の三十年（仮）

（2024年12月中旬刊行予定）

阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）[著]

四六判並製 / 240頁 税込予価 2,750円 ISBN978-4-7664-3002-8 C0036

👉 ココに注目！

- ・ 阪神・淡路大震災の防災と被災者支援の「失敗」から、その後の発展と課題を辿る。
- ・ 行政アドバイザーとしての立場から、地方自治体主体の支援体制からの脱却を提言。

行政アドバイザーとして被災者支援に長年携わる著者が、阪神・淡路大震災発生時の防災・被災者支援の「失敗」の原因を、地方自治体が主体となって支援する体制の限界にあると指摘する。東日本大震災や世界の大規模震災を参考に解決策を探る。

対象 研究者（危機管理分野）・ボランティア、コミュニティ支援に関心を持つ一般読者

類書 五百旗頭真他『総合検証 東日本大震災からの復興』（岩波書店）

【営業部からのおすすめポイント】

阪神・淡路大震災の発生から、来年1月17日で30年の月日が経とうとしています。当時、大きな被害を招いた背景に、被災者支援や生活再建を阻む弊害、特に被災し機能不全に陥った行政の限界があったことが近年の研究で分かってきました。本書では、長年支援に携わってきた著者が、現場での実践と、他国の事例検証などを交えつつ、国と地方自治体、ボランティアが連携した支援の在り方を提言します。記憶を風化させないためにも、ぜひ積極的な展開をご検討ください。（吉川）

👉 目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【目次】

はじめに

- 第1章 なぜ「大震災」になったのか
——「失敗」から振り返る阪神・淡路大震災（1995年）
- 第2章 「国」は被災者をどう支援するのか
——トルコの防災システムの大改革 マルマラ地震（1999年）と
カフラマラシュ地震（2023年）
- 第3章 国際支援は復興に何をもたらすか
——備え無きインド洋津波災害（2004年）の混乱
- 第4章 災害が想定を超えたとき何が起こるのか
——東日本大震災（2011年）が浮き彫りにした減災復興政策の限界
- 第5章 「知識」から「行動」、「いつも」から「もしも」へ
——能登半島地震（2024年）から考えるこれからの防災
- 大震災に立ち向かうためのガイド集（ライフハックや文献紹介など）



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		阪本真由美 著	2,750 円	★★★★ ★★
		阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか —被災者支援と復興の三十年（仮） ISBN978-4-7664-3002-8 C0036		

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
返品条件付注文品		牧紀男 著 平成災害復興誌 —新たなる再建スキームをめざして ISBN978-4-7664-2910-7 C3052	2,750 円
		武藤秀太郎 著 中国・朝鮮人の関東大震災 —共助・虐殺・独立運動 ISBN978-4-7664-2909-1 C3021	2,970 円
		福田雄 著 われわれが災禍を悼むとき —慰霊祭・追悼式の社会学 ISBN978-4-7664-2654-0 C3036	3,300 円